

日高軽種馬農業とアイヌの歴史

札幌大学経済学部

経済学部では、6月28日（木）～29日（金）の日程で、1泊2日による学外研修を実施します。北海道の地場産業を視察見学し、北海道の経済や歴史、文化について理解を深めることを目的として毎年行っています。

今年度は、競走馬（軽種馬）生産日本一である日高地方を訪れ、日高軽種馬農業がWTO体制によってどのような影響を受けつつあるかを学び、また、平取町二風谷を訪れて、北海道の先住民族であるアイヌの歴史について学びます。

参加対象は経済学部1～4年の希望者で、先着30人で実施します。今回の学外研修には、経済学部が留学協定を結ぶオーストラリア・クィーンズランド工科大学とニュージーランド・オークランド工科大学からの交換留学生も参加し、日本の地方の産業や歴史を学ぶ機会とします。

【研修先】

6月28日（木）	新ひだか町・日本軽種馬協会静内種馬所 新ひだか町・日本軽種馬協会北海道市場 新ひだか町・ビッグレッドファーム 浦河町・有限会社吉田ファーム 浦河町・日高農業共同組合グリーンサポート事業
6月29日（金）	浦河町・財団法人軽種馬育成調教センター(BTC)日高事業所 平取町・萱野茂二風谷アイヌ資料館